

個人投資家向け説明会 主な質疑応答

(2016年3、4月開催)

Q 2015年度の当期純利益予想の650億円は、NECモバイルコミュニケーションズの解散に伴う240億円の税金費用の減少の効果も含め据え置いたということですか。

A 予想には、NECモバイルコミュニケーションズ解散に伴う税金費用の減少も含まれています。当期純利益は、重要な指標の一つと考えていますので、さまざまな施策の実施も含め、利益の確保に取り組んでいきます。

Q NECのシステムを使えば、発電所でのトラブルなどを未然に防ぐことができますか。

A 当社の故障予兆監視システムは、発電所内のさまざまなセンサから入手できる情報から平常時と現状との違いを分析し、一致しない情報から異常の予兆を検知することが可能です。

Q 国際的なスポーツイベントなどで、NECはどのような貢献ができますか。期待できる領域を教えてください。

A 顔認証や群衆監視など、パブリックセーフティの領域に力を入れています。例えば、会場に危険人物が入り込まないようにするなど、大会の安全・安心な運営を実現するためのシステムを提供していきたいと思えます。

Q 生産拠点は国内にあるのですか。

A 国内が多いですが、海外もあります。なお、コンピュータなどは、部材を海外から買ってきて、国内で組み立てをしています。

Q 会社の組織体制は事業部制ですか。カンパニー制ですか。

A 以前、カンパニー制の時もありましたが、現在はビジネスユニット制を採っており、その配下に事業部があります。

Q 5つの事業の営業利益を合計すると、全社の合計より多くなります。重複しているものがありますか。

A 5つの事業分野以外に、本社のスタッフ部門や中央研究所の費用、戦略投資などが含まれている「消去・配賦不能」という項目があります。

以 上